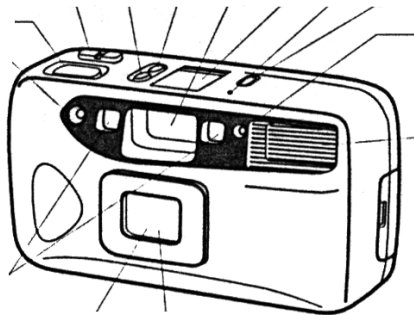
Konica

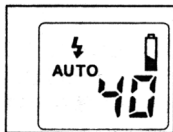
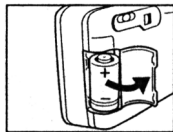
SUPER BIG mini ZOOM

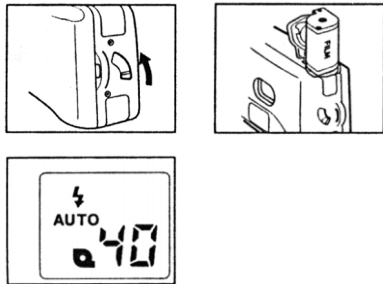
BM-S 525Z

KONlCA 取扱説明書

部品説明

①シャッターボタン
②ズームボタン
③セルフタイマーボタン
④フラッシュ・モード・ボタン
⑤電源スイッチ
⑥表示パネル
⑦途中巻戻しボタン
⑧赤目軽減／セルフタイマー・ランプ
⑨ファインダー
⑩オートフォーカス測距窓
⑪AE受光窓
⑫フラッシュ
⑬レンズカバー
⑭レンズ

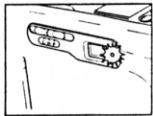
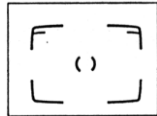
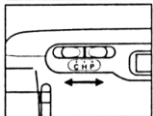
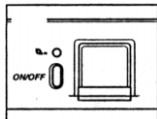
⑮カートリッジ開閉ノブ
⑯リストストラップホルダー
⑰カートリッジカバー
⑱三脚穴
⑲電池室カバー
⑳電池室
㉑プリント切り替えレバー
㉒ファインダー
㉓緑 LED ランプ

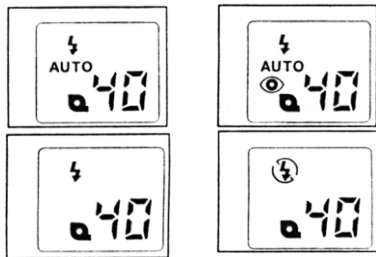
A．電池の入れ方［図1.2］

1. 電池室カバーをコイン等で開いてください。
2. CR2リチウム電池(3V)１個を表示(＋－)を合わせて入れてください。
3. 電池室カバーは、音がカチッとするまで押して閉めてください。
4. カートリッジフィルムを入れずにメインスイッチをONにするとＥ(エラー)の文字が表示パネルで点滅します。
   メインスイッチを切れば表示パネルの文字は消えます。
5. 電池の電圧が2.2ボルトになると表示パネルに注意信号(▭)が点滅しますが、この段階ではまだシャッターを切ることができます。
6. 電池の電圧が下限の2.1ボルトまで下がると注意信号(▭)が点滅してシャッターがロックされますので、新しい電池と交換してください。

B. フィルムの入れ方［図3.4.5］

1. カートリッジ開閉ノブを押し上げてカートリッジカバーを開きます。
2. カートリッジフィルムを装填し、カートリッジカバーを閉じて下さい。
   フィルムをセットすると撮影可能枚数とカートリッジ在中のマークが表示されます。
3. この時点でカメラは撮影可能状態となります。
4. フィルム在中時には絶対カートリッジカバーをあけないでください。
5. 撮影していないフィルムが残っている状態で誤ってカートリッジフィルムを取り出そうとすると表示パネルには注意信号[0]が約10秒間点滅してから消えます。
   また、使用済みカートリッジフィルムを装填すると同様に[00]が点滅します。

C. フィルム感度

1. カメラはカートリッジフィルムの感度の情報を読み取り自動的にセットされます。

D．撮影［図6.7.8.9.10.11.12.13］

1.電源スイッチをONにするとレンズカバーが開き、レンズが一定位置まで出てきて、表示パネルにフラッシュモード、フィルム撮影枚数が表示されます。
2.カメラは両手で肘を体につけて安定させ、カメラを顔に近づけてファインダーを覗いてください。指、髪の毛が、レンズ、フラッシュ等にかからないようにしてください。
3.プリント切り替えレバーを好みのタイプに合わせ、オートフォーカスフレーム(( ))に被写体の中心を合わせてください。
シャッターボタンを半押しにし、この状態でピントを固定します。緑ランプが点灯したらピント合わせ完了です。
4.シャッターボタンをさらに押し込むと、シャッターが切れ撮影完了です。

E．フラッシュ撮影［図14.15.16.17］

1．フラッシュをつかって写真を撮るときは、被写体が、使用するフィルムの撮影範囲に入っていることを前もって確かめてください。
lSO200の場合　広角撮影：1.0〜4.7m
　　　　　　　望遠撮影：1.2〜2.5m

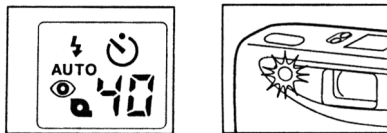
2．フラッシュには以下のモードがあります。

1) 赤目軽減モードをつかわないオートフラッシュ：
このモードは、赤目軽減ランプをつかわない撮影に適します。フラッシュモードボタンをオートに合わせてください。

2) 赤目軽減モードをつかうオートフラッシュ：
「赤目」とは、フラッシュ撮影するときに、カラーフィルムでは被写体の目の中央部分が濃い赤色に、白黒フィルムでは白色になる現象です。赤目を軽減するために赤目軽減ランプがついています。シャッターボタンを押すと、赤目軽減ランプが1秒間点灯し、この間シャッターはロックされます。１秒後、被写体の瞳を小さくし、赤目の生じる可能性を少なくしてからシャッターが切られ、フラッシュが発光されます。

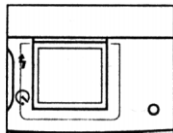
3) フラッシュ強制発光モード：
このモードをつかうとライティングに関係なくフラッシュを使用できます。この強制発光フラッシュをつかうと、人物や被写体のシャドーが柔らかくなります。

4) フラッシュ取り消しモード：
このモードはフラッシュが禁止されている場所や、自然光撮影につかいます。

F．セルフタイマー［図18.19］

1. セルフタイマーボタンを押して表示パネルにを表示させます。
   シャッターボタンを押しますと赤目軽減／セルフタイマーランプが点滅を開始し、約10秒後に自動的にシャッターが切れます。
2. 途中で解除したいときは電源をスイッチをOFFにしてください。

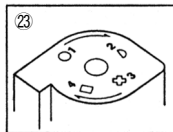
G．フィルムの取り出し

1. フィルムの最後のコマを撮り終えると自動的に巻き戻されて最後はカウンター表示が0になりストップします。
2. カメラのカートリッジ開閉ノブを押し上げてカートリッジカバーをあけ、カートリッジフィルムを取り出します。
3. 巻戻し中に電池が消耗して止まった場合は電池を交換してください。巻戻しが続行されます。

H．フィルムの途中巻き戻し［図20］

1. 撮影途中でフィルムを巻き戻す場合は、途中巻戻しボタンを押してください。
   押しつづける必要はありません。
2. 途中巻戻したフィルムの再使用はできません。

I．ズームの撮影方法［図21.22］

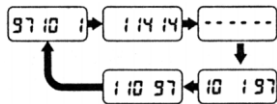
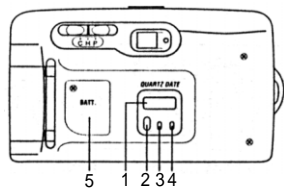
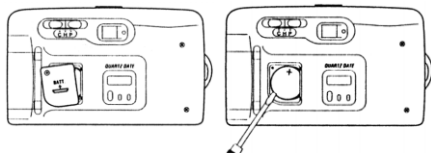
電源スイッチを押すとレンズカバーが開き、レンズがワイド(広角)の撮影位置まで出てきます。ワイド(W25㎜)は集合写真、風景写真に適しています。ズームボタンT(望遠)を押すとテレ(T50㎜)側となり、ポートレートや遠景を大きく撮影するのに適します。

J．カートリッジ使用状態マーク［図23］

フィルムをカメラに装填する前に、フィルムが未使用状態(○)になっているか確認してください。

１＝未使用　　２＝途中まで撮影
３＝撮影済み　４＝現像済み

K．プリントタイプサイズ

Ｃタイプ：　縦横比　２：３
Ｈタイプ：　縦横比　９：16
Ｐタイプ：　縦横比　１：３

L．オートデート

(デートの合わせ)	(モードの切り替え)
1.デートパネル	年　月　日
2.MODEボタン	日　時　分
3.SELECTボタン	……写し込みなし
4,SETボタン	月　日　年
5.BATT.蓋	日　月　年

MODEボタンを押して年月日を表示させます。SELECTボタンを押して修正する数字を点滅させます。
数字を点滅させたまま、SETボタンを押し修正します。
日　時　分の場合も上と同様の手順で行います。

オートデートの装置には、CR2025のリチウム電池1個が使用されています。
デート表示の数字が薄くなってきたら電池を交換してください。
電池の交換は、小型のドライバーでネジ(1本)を外してBATT.蓋(5)を開けて新しい電池と交換してください。
電池は＋極を上にして入れ、BATT.蓋を正しく止めてください。

M. 主な仕様

型式	：ズームレンズ内臓 オートフォーカスAEレンズシャッターカメラ
使用フィルム	：IX240カートリッジフィルム
画面サイズ	：16.7㎜×30.2㎜
プリントタイプ	：C.H.P.の3種類のプリントタイプ選択
レンズ	：KONICAズームレンズ25～50㎜ F5～F9.5　5群5枚
シャッター	：プログラムAE式電子シャッター(絞り羽根兼用) シャッタースピード1／90～1／300秒
フォーカスロック	：シャッターボタンを半押しによるフォーカスロック機構
ファインダー	：アルバタ式ズームファインダー C.H.P.タイプ撮影フレーム表示 視野率85%　倍率25㎜時　約0.31倍 倍率50㎜時　約0.58倍
距離調節	：赤外線アクティブ方式 撮影距離 25㎜時　1.0m～∞ 50㎜時　L2m～∞
フラッシュ	：ガイドナンバー:14(lSO200・m)充電時間:約6秒
フラッシュモード	：モードボタンで３モードの切り替え可能 自動発光/発光禁止/強制発光
赤目軽減	：フラッシュモードをAUTOから赤目軽減撮影にすると、シャッターが切れる前に１秒間赤色のランプが点灯して人物の目が赤く写るのを軽減する。

セルフタイマー　：電子制御方式。シャッターボタンにより10秒間作動
フィルム装填　：ワンタッチローディング方式
フィルム巻き上げ　：内蔵モーターによる自動巻き上げ方式。
フィルム終了時端末の自動検出により自動巻戻し、途中巻戻し可能
表示パネル　：フィルムカウンター／フラッシュモード／バッテリー／セルフタイマー／赤目軽減／
カートリッジ確認マーク
自動電源カット　：電源スイッチをONの状態で、３分間操作しないと電源は自動的にカット
電池　：カメラ用CR2　3V リチウム電池　1個
デート写し込み用CR2025　3V　リチウム電池　１個
大きさ　：115×63×45㎜　約210g(電池別)

＊感電等の危険を避けるため、カメラは分解しないでください。
＊フィルム装填中はカートリッジカバーを無理に開かないでください。
閉め直してもフィルムは自動的に巻き戻ってしまい使用できません。
＊カメラの外観、仕様の一部を改善のため予告なしで変更することがあります。